

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、社会全体に大きな変化がもたらされました。本項では、東武グループが新しい生活様式に対応すべく、取り組んできた各種事業の進捗をご紹介します。

1 1 新しい生活様式に定める事業の推進

■ T Jライナーの増発、混雑を避けた座席指定列車の拡充

通勤時間帯の混雑を避け、ゆったり座って通勤できる環境を求めらるお客様からのニーズに定めるため、2021年3月のダイヤ改正より平日上りのTJライナーを2本増発しました。



■ 多様な働き方、暮らし方に対応した環境の整備

・ サテライトオフィス、ワークスペース付き賃貸マンションの開設

テレワークや多様な働き方のニーズに定めるため、郊外型サテライトオフィス「Solaie +Work(ソライエプラスワーク)」を2020年6月に獨協大学前<草加松原>、ふじみ野に、2021年3月には鎌ヶ谷、坂戸にて開業しました。また共用部に入居者専用のワークスペースを設置した当社初となるワークスペース付き賃貸マンション「ソライエアイル草加」「ソライエアイル新河岸」を2021年3月に開設しました。



ソライエプラスワーク鎌ヶ谷



ソライエアイル新河岸 (ワークスペース)

■ 変化に対応する東京ソラマチ®

東京ソラマチでは、2020年夏から2021年春にかけて、合計30店舗の入替等を実施しました。新しい生活様式や生活必需品の需要にも対応した店舗の誘致も行い、東京スカイツリータウン®の地元や沿線のお客様の利便性向上も図ったほか、「世界」、「日本」、「シタマチ」の名店や注目のお店を数多く誘致し、ソラマチ内で国内や国外を旅する気分を味わえるマイクロツーリズムを提案します。今後も、新たな生活様式に対応しつつ、皆様に楽しんでいただける施設を目指します。



東京ソラマチ外観



ソラマチ商店街

2 魅力的なサービス提供と利便性の向上

■東武グループ共通ポイント「TOBU POINT」、 「トブポマイル」サービス開始

2020年11月より、スマートフォンアプリを活用した新たなポイントサービス「TOBU POINT」を開始しました。これにより、東武カードをお持ちでないお客様もご利用ができるようになったほか、ポイントのため方・使い方が多様となり、利便性が向上しました。さらに2021年10月からは、東武線に乗りただくとたまる「トブポマイル」サービスを導入しました。



TOBU POINTアプリ (イメージ)

東武線に乗ってたまる!

トブポマイル

おでかけマイル

「Apple PayのPASMO」
「モバイルPASMO」で乗車すると

**東武線
乗車運賃の 3%**

リピートマイル

同一月内に同一運賃区間を
8回以上乗車すると

**東武線
乗車運賃の 4~12%**

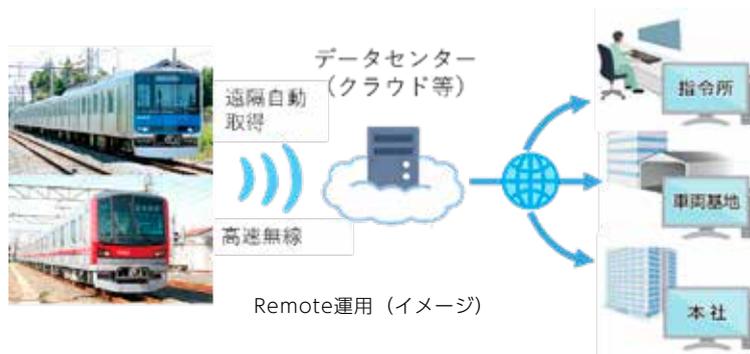
3 鉄道事業の効率化に向けて

2021年度より走行中の車両の乗車率・車内温度・運転速度・消費電力・機器状態等の車上データを有効活用するシステム「Remote*1」の本格運用を開始しました。集約した車上データは、ダイヤの最適化や省エネ運転に活用するほか、設備の劣化を予測して必要なタイミングでメンテナンスを行う状態基準保全(CBM*2)に活用します。さらに、定期点検作業の一部を遠隔で対応可能とすることで、安全性の向上や保守作業の効率化を図ります。

また、少子高齢化、沿線人口及び労働人口の減少が進む中で、安全かつ利便性の高い輸送サービスを維持継続するために、より一層の業務の自動化や機械化の推進を図る一環で、2023年度以降東武大師線(東京都足立区)において添乗員付き自動運転(GoA3)の実施に向けた検証開始を予定しています。

*1 Remote: Remote monitoring of train to use effectivelyの略

*2 CBM: Condition Based Maintenanceの略



Remote運用 (イメージ)



大師線大師前駅

自動化レベル	乗務形態のイメージ ([] 内は係員の主な作業)	国内の導入状況
GoA0 目視運転	運転士 (および車掌)	路面電車
GoA1 非自動運転	運転士 [列車起動、ドア扱い、緊急停止操作、避難誘導等]	踏切がある等の一般的な路線
GoA2 半自動運転	先頭車両の運転台に乗務する係員 [緊急停止操作、避難誘導等]	一部の地下鉄 等
GoA2.5 (緊急停止操作等を行う係員付き自動運転)	先頭車両の運転台に乗務する係員 [緊急停止操作、避難誘導等]	無し
GoA3 添乗員付き自動運転	列車に乗務する係員 [避難誘導等]	一部のモノレール
GoA4 自動運転	係員の乗務無し	一部の新交通 等

自動化のレベル